

二十五回生 牧村（山崎）佳那子

はじめのの高階暮らし雁の声

煙草の香残るワイシャツ寒昂

冬林檎はっぱかけられさびしくなる

左手ゆんできれいにつかふ女や利休の忌

文通といふ語古びぬ夾竹桃

広々とひとりの座卓羽蟻の夜

朝顔やなにもなき日を紅薄く

今回はこの七句でお願い致します。

四十数年住みました家を同じ世田谷、経堂なのですがマンションに一人で越しました。

もう六ヶ月になります。マンションの生活にうまくなじめなく、失敗ばかりしています。

でもスーパーも郵便局も近く、便利で活気にあふれています。

だんだん楽しくなってきました。

娘達もすぐそばにいます。熱々のおかずをもっていったり、きたり。孫が出たり入ったりで安心です。

このようにおかげさまで元気で新しい生活を送っています。